

第59回はたらく女性の茨城県集会

日時 7月27日(土) 9:30~
 会場 自治労会館 (水戸市桜川2-3-30)
 内容 ・講演「今、はたらく女性の健康と安全が危ない」
 講師：山田 厚・全国労働安全衛生研究会代表
 ・分會会(軽食をいただきながら)

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部
 Eメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
 編集発行人 = 千歳 益彦
 毎月 5 の日 発行
 定 価 = 1部5円(組合費を含む)
 印刷所 = コトブキ印刷株式会社



参議院茨城選挙区候補者 おぬまたくみ

プロフィール

生年月日 1985年12月21日(33歳)
 出身地 茨城県銚田市
 経歴等 経済産業省職員、ボストン・コンサルティング・グループ勤務
 学歴等 銚田市立上島小、私立清真学園中、私立清真学園高校ではラグビー部、早稲田大学政治経済学部卒業。早稲田大学では雄弁会幹事長。タフツ大学フレッチャ―法律外交大学院国際ビジネス学修了。
 事務所 水戸市千波町2067-5



参議院全国比例区候補者 岸 まきこ

プロフィール

1976年 北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ、町立栗沢小学校/栗沢中学校卒業
 1994年 北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)
 2004年 自治労北海道空知地方本部女性部長、自治労北海道空知地方本部書記次長・書記長・副執行委員長歴任、2013年自治労中央本部法対労安局長・組織対策局長
 2017年 自治労特別中央執行委員(組織対策担当)

第25回参議院選挙

自治労茨城県本部推薦候補

第一声



団結ガンパローで当面する闘いへの決意を固めた県本部第2回中央委員会

県本部中央委員会で決定された全議案

◆第1号議案・2018自治体確定闘争総括 ◆第2号議案・2019春闘中間総括 ◆第3号議案・当面の闘争方針 ◆第4号議案・2019年度一般会計補正予算 ◆第5号議案・役員推薦委員の選任について ◆第6号議案・自治労本部大会代議員の承認について ◆第7号議案・規則・規程の一部改正について(討議案) ◆第8号議案・「第4次組織強化・拡大のための推進計画」・新「組織拡大アクション21」の総括と「第5次組織強化・拡大のための推進計画」(討議案)

人勧期・参院選に全力を

県本部第2回中央委員会

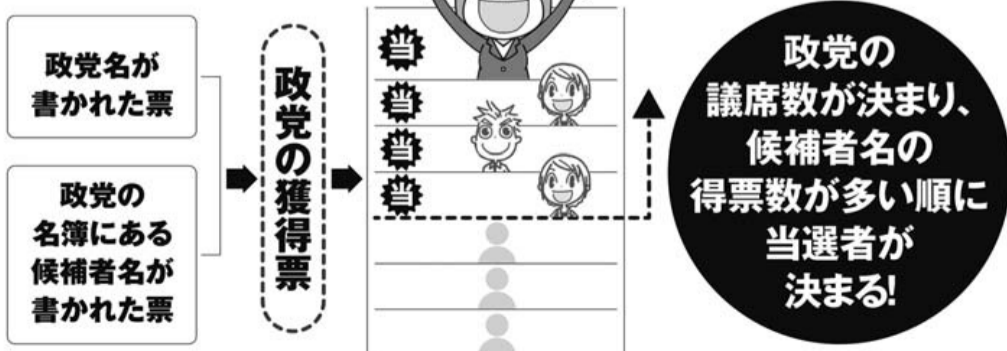
県本部は6月21日、自治労会館で第2回中央委員会を開き、人勧期に向けた闘い・男女平等参画推進の取り組みなど当面の闘争方針や自治労本部大会代議員の承認、第4次組織強化・拡大のための推進計画の総括・第5次組織強化・拡大のための推進計画など8つの議案を圧倒的多数で決定しました。

会議冒頭、千歳委員長はあいさつの中で、連合の2019春季生活闘争について触れ、「2%を超えた賃上げの成果を確実に人事院勧告の引き上げにつなげていくことが重要」と指摘するとともに、「働き方改革関連法施行に伴う時間外労働削減への対応強化、来年4月の会計年度任用職員制度移行に向けた臨時・非常勤職員の処遇改善と組織化などを述べました。さらに、強権的政治状況を変える必要性を強調し、参院選の取り組みに向け県本部が推薦決定した茨城選挙区は「おぬまたくみ」、比例区は「岸まきこ」への万全の支援を訴えました。

質疑では、組織討議案となつて「県本部・単組の組織強化、活動の強化をはかる観点から、県本部在籍役員任期を2年とする」規則改正について、水戸市職の照山中央委員から「改正の方法」などについて質問がありました。

一部改正(組織討議案)・⑧「第4次組織強化・拡大のための推進計画総括」・新「組織拡大アクション21」の総括と「第5次組織強化・拡大のための推進計画」(討議案)の8本の議案が提案されました。

参院選比例区のしくみ



参院選比例区も

個人名で投票を!
 個人名の得票で当選が決まります!

檄

本日、第25回参議院選挙が公示され、闘いの幕が開けた。今回の参院選は、立憲主義否定・民意軽視の自民党・「安倍一強」政治から、民主主義を取り戻す闘いである。

安倍政権・自民党は、経済政策「アベノミクス」の6年間の実績として、雇用の改善や過去最高の国民総所得などの実績を強調し、アベノミクスへの批判をかわすために、「景気回復は続いている」と強弁し続けている。しかし、立憲民主党をはじめとする野党が指摘しているとおり、実質賃金の低下が家計を圧迫し、経済の最大のマイナス要因になっていることは明らかである。なおかつ、金融庁の金融審査会報告書をめぐる老後資金2千万円問題を発端に、国民の年金不安が一気に高まっている。

また、沖縄・辺野古新基地建設や「イージス・アショア」配備計画など、政府の対応は民意を無視し、民主主義を否定するものにほかならず、到底認められるものではない。

そのような中、安倍首相は「憲法議論を進めるか否か参院選で問う」と明言しており、自民党が提示している9条への自衛隊明記など4項目の改憲に強い意欲を示している。

こうした政治の危機的状況を前に、生活者・働く者に軸足を置く立憲民主党を中心とする野党は、この間、共闘体制を進めてきた。参院選で野党に議席を取り戻し、自民党など改憲勢力の3分の2の議席確保を、何としても阻止する必要がある。自治労としても、国民多数に対応した「中道」「リベラル」勢力の拡大にむけ、最大限、力を尽くしていかなければならない。

また、自治労の「力」が問われているのが、この参院選である。私たちは組織の存亡をかけ、全力をあげて取り組み、自治労の代表として組織内候補である「岸まきこ」（比例代表）と「西田一美」（奈良選挙区）の必勝、そして支援する全ての候補の勝利を勝ち取らなければならない。

とくに、比例代表である「岸まきこ」必勝にむけた取り組みは、極めて重要である。しかし、取り組みは遅れており、支持者拡大は極めて不十分な状況にある。支持者の数は、すなわち自治労の団結の強さそのものを示す。自治労の存在と社会的評価、政治的影響力を維持し、地域公共サービス労働者の権利を守り、現場の意見、怒りの声を国政の場に届けていくには、何としても、自治労の代表「岸まきこ」の圧倒的な勝利を勝ち取らなければならない。

立憲民主党をはじめ、野党を取り巻く情勢は厳しく、現状のままでは「岸まきこ」の当選も予断を許さない状況にある。今こそ、組合員一人ひとりが確実に行動を起こす時だ。

「岸まきこ」必勝にむけ、ともに頑張ろう！

2019年7月4日

全日本自治団体労働組合
中央執行委員長 川本 淳

経済ニュースの裏側 46

業務妨害は「自作自演」？

ジャーナリスト 北 健一

経済事件をそれなりに取材してきたが、さすがにこれには驚いた。威力業務妨害事件で、妨害された「業務」に実態がなく自作自演だった疑いが浮かんだからだ。

ト輸送会社の業務妨害を企て、宇部三菱SS（Sはセメントの貯蔵出荷基地）付近で、セメント運搬車の前に立ちほだかるなどしてSSへの出入りを阻んだ。

当時、関生支部と全港湾大阪支部は、セメント・生コン輸送の運賃引き上げなどを求め近畿一円でストライキに入っており、宇部三菱SSでの組合員らの行動は、ストへの協力を求める説得

だった。同事件では、18年9月から20人が逮捕され、組合員7人、役員ら3人が威力業務妨害罪で起訴されている。

5月22日、事件の第3回公判が大阪地裁で開かれ、宇部三菱セメントの専属輸送会社・植田組の総務担当E氏が検察側証人として出廷。「真実を話す」と宣誓した上、当日起きたことを告白した。

被告（組合側）弁護人が、SSから出る車を特定し「どこへ行く予定だったか」と問うと、E氏は「まだ決まっていなかった」と証言。ストがあるとは知らず注文がほぼ途絶えるなか、「先行不明の車両」がSSに入入りしていたことを明らかにした。「業務妨害」の模様を撮影するためだった可能性がある。

威力業務妨害罪という業務とは、「広く職業その他継続して従事することを要すべき事務または事業」（最高裁判例）とされる。セメントなどの運送はもちろん「業務」だが、労働組合を陥れるか。

が、SSから出る車を特定し「どこへ行く予定だったか」と問うと、E氏は「まだ決まっていなかった」と証言。ストがあるとは知らず注文がほぼ途絶えるなか、「先行不明の車両」がSSに入入りしていたことを明らかにした。「業務妨害」の模様を撮影するためだった可能性がある。

また、自治労の運動にはさまざまな評価があるが、ここで問われているのは同支部の方針でも戦術でもない。「こしらえられた事件」で組合をつぶしていのかという、憲法28条に関わる問題だ。

逮捕、起訴の規模に比べ、当局べつたりの産経新聞を除いて事件の報道は少ない。発表垂れ流しを慎む見識もわかるが、綻び始めた起訴状況ストリーのファクトチェックに踏み出す時ではないか。

各単組役員

執行委員長 松崎 真吾	執行委員長 藤沼 涼子
副執行委員長 宮河 哲也	副執行委員長 山本三千代
書記長 三瓶 裕美	書記長 加藤 誠二
書記次長 浅野進太郎	書記次長 鈴木 秀教
執行委員 草山 尚拓	執行委員 鈴木 雄貴
執行委員 鈴木 亮一	執行委員 赤津 陽
執行委員 大杉 美香	執行委員 加藤 誠二
執行委員 鶴田真維子	執行委員 鈴木 秀教
執行委員 川上みね子	執行委員 鈴木 雄貴
執行委員 所 壯登	執行委員 矢代 拓海
執行委員 片野 智康	執行委員 斎藤真理子
執行委員 古川 智美	執行委員 斎藤真理子
執行委員 津田 智子	執行委員 佐藤 佑介
執行委員 田村 俊充	執行委員 鈴木 聖太
執行委員 稲田 昌俊	執行委員 白土 由佳
執行委員 飯田 彩花	執行委員 飯田 彩花



住みいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

自然災害への力強い備え

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治団体労働者共済生活協同組合

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください
ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

自然災害共済の大型タイプで手厚く保障します!
火災共済と一緒にご加入ください!

最高限度口数
住宅400口 + 家財200口
でご加入の場合

最高保障額
4,200万円
風水害などの場合
突風・台風・豪雨・洪水・雪崩・高波など

最高保障額
1,800万円
地震などの場合
地震・噴火・津波など

ZENROSAI NEWS
5118B009